

4月号

30年目のスタートにあたって

校長 島田光雄

校庭の桜の花もようやくほころび始めました。3月には108人の6年生が卒業し、ちよつと寂しくなった学校にピカピカの1年生91人が入学しました。総児童数597人でスタートいたしました。保護者の皆様、お子さんのご入学・ご進学誠にありがとうございます。



椿峰小では、年度当初の人事異動や市の職員の配置換えなどにより10名の職員が転退職し、新しく10名が着任しました。総数33名の教職員でお子様の教育にあたってまいります。

学校教育目標「明るい子」「がんばる子」「やさしい子」の育成を目指して教職員一体となって取り組んでまいります。

学習指導要領が今年度から完全実施となり指導内容も増えて1、2年生では授業時数が1時間増えています。5、6年生では外国語活動の授業が完全実施されます。

一人一人の児童が充実した学校生活を送るのには、担任と保護者の連携、信頼関係が重要になります。そこで、保護者の皆様は担任へ遠慮なく相談をしていただきたいと思います。校長（教頭、教務、学年主任等）に直接お話にきていただいても結構です。

また、児童の健全育成のために、地域の皆さんのお力も貸していただきたいと思います。

今年度は、椿峰小学校開校30周年にもあたり、過去10年間のPTAの会長さんに実行委員になっていただき、記念行事や式典の準備をしていただいています。

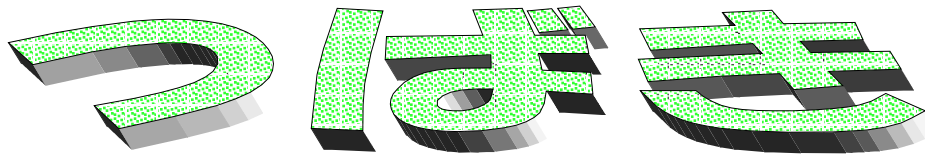
今年度も全職員全力で子どものためにがんばります。ご理解とご協力をお願いします。

＜なぜ、椿峰という地名になったのか＞

1333年、鎌倉時代、新田義貞が椿の枝を折って箸にしてお昼を食べた。その枝をさして置いたところ成長して立派な椿の木となった。そして、人々が椿の峰というようになった。

（中央公園石碑より）

*開校30周年を記念して、椿峰小の歴史等を学校だよりで紹介していきたいと考えています。



5月号

もっと、問題解決を子どもに

校長 島田 光雄

〇〇会館に朝から出張である。車に乗り〇〇会館とナビを入れてみた。案内開始となるはずであったが、その場所が表示されない。3回やっても表示されない。

理由ははっきりしないが表示されないことがはっきりした。そこから私の問題解決が始まった。まず、自宅にある地図を探すことにした。

ところが、いつもあるところがない。更に探すことも考えたが、たぶん新しくできた場所なのでナビに表示されなかったのだと考え、時間をかけ地図を見つけても記載されていない可能性が高いと考えた。

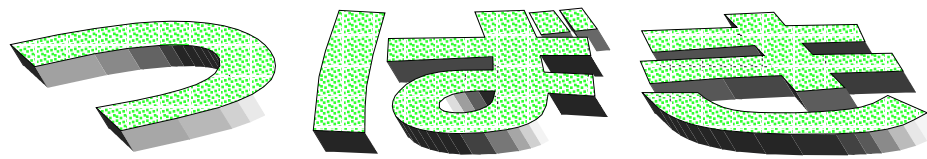
次に友人に電話をして情報を得ようとした。しかし、近くに目立った建物もなく電話で教えることは難しいとのことであった。そこで、とりあえず出かけてしまうことにした。誰かが「△△のインターの次で降りるといいよ」と教えてくれたことを思い出した。△△インターで降りることができた。降りたがどちらに行ったらいいのかわからない。数人の人たちに聞いてみたところ、〇〇公民館は分かるが〇〇会館は分からないという。いよいよ困ってきた。しかたがないので〇〇市役所をナビにセットし、市役所方面に行くことにした。最悪市役所で聞けば分かると思ったからである。市役所の駐車場で職員に尋ね無事目的地に時間内で着くことができてほっとした。問題解決のために、必死で考えた1時間であった。

子どもが何か困ったとき、あるいは困らないように、もしかすると親や教師はその障害を取り除いてしまい、子どもが考えなくてもいいようにしているのではないだろうか。必死に考え、判断し行動する場をもっと子どもに用意すべきではないでしょうか。

<30年前の椿峰小の周りの様子は>

狭山丘陵の雑木林でした。キジや狸、イタチがいて、人はあまり行かなかったようです。山口小から今の椿峰小に行くには細い砂利の道があったそうです。昔は北打越の農家の子どもは山小へ通っていました。海谷は畑が多く農家がありました。ゴルフ練習場のあたりから小川が流れていて、ヤオコーあたりは、その水で稲を作っていました。水が冷たくて育ちにくかったようです。椿峰コミュニティ会館の近くは田んぼでした。

*開校30周年を記念して、椿峰小の歴史等を学校だよりで紹介しています。



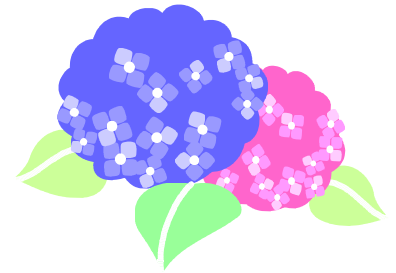
6月号

ローラー付きシューズ

校長 島田 光雄

4車線の交通量の多い交差点で、赤信号となり車を停止させた。ローラー付きシューズをはいた4、5年生ぐらいの女の子が滑りながら交差点を渡り始めた。最初は上手に滑っていたが半分をすぎたところで転んでしまった。女の子もあわてたかもしれないが、もっとあわてたのが左折しようとしていた車の運転手であろう。一歩間違えると女の子は大変なこととなっても不思議ではなかった。こんな光景を見ながら私は、思った。

- ・なぜ、親はそばに、ついていないのか。
- ・なぜ、買うことになったのか。
- ・誰が、危険が予想されるローラー付きシューズを買ってあげたのだろうか。
- ・子どもと遊ぶときの約束をしていないのか。



こんな事を思いながら、どんな考え方の保護者なのかなと頭に思い浮かべてみた。

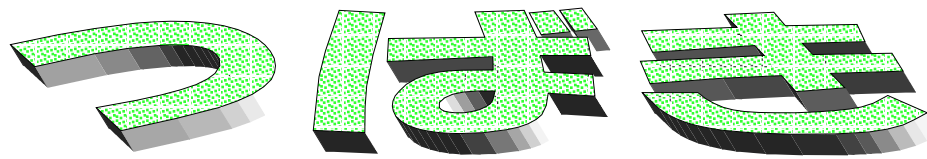
ジェーボートを道路で遊んでいたので注意したが、やめてくれない。危険なので学校で指導してほしい。という地域の方からご意見をいただいている。私も道路で遊んでいる子を見かけることがある。

保護者の方が子どもがほしがっている品物を買って与えるときは、自分の子に必要なものか。危険はないか。親との約束は守れる子か。等よく考えてから買ってあげてほしい。「みんなが持っているから」という子どもの言葉だけで安易に買ってはいないだろうか。

<校歌作詞者 小原千津子さんに聞きました>

椿峰の土地にきて、見上げた坂、聞いた小鳥の声、そして、校庭では、風が吹き抜け、子ども達の笑い声。夕焼けの空には秀麗な富士が「がんばれよ」と応援してくれる。こんな自然がいっぱいの最適な学校はほかにない。その学校で学ぶ子ども達に、素直で元気で明るく、優しい心の子どもになってほしい。そんな気持ちを込めてこの詞を作りました。

*開校30周年を記念して、椿峰小の歴史等を学校だよりで紹介しています。



7月号

子どものごまかし

校長 島田光雄

8時20分頃一人で登校してきた児童がいた。「どうしたの?」「遅刻しました」「なぜ遅刻したの?」「本を読んでいた」こんな会話を正門でした。10時頃担任に〇〇さん、本を読んでいた遅くなったんだってと話した。私には「妹とけんかして遅くなった」と言っていました。

そこではっきりしたことは、遅刻の原因を担任と私に言ったことと異なることである。どちらか、もしくは両方が本当でないのである。

強い言い方をすれば嘘を言ったのである。なぜ、ごまかしたのか考えてみた。

- ・叱られる、怒られるなどの自分にとっての不利益を避けるために、自分を守るためにごまかす。
- ・友達の関心や興味を引くために、珍しいものを持っている、見たことがある、やったことがある等と言ってしまう。等が一般的であると考えられる。

嘘、ごまかし、いいわけ、都合の悪いことは言わない、これらをうまく見抜けるのが親であり担任の先生であると思う。子どもの態度や表情から敏感に感じ見抜いてしまう。子どものことを理解し抜いている人にしかできない。元気がないと感じれば、具合が悪いことをすぐに察することができる。子どもから見ると、自分を理解してくれる人、ごまかしてはいけない人、裏切ってはいけない人なのであろう。

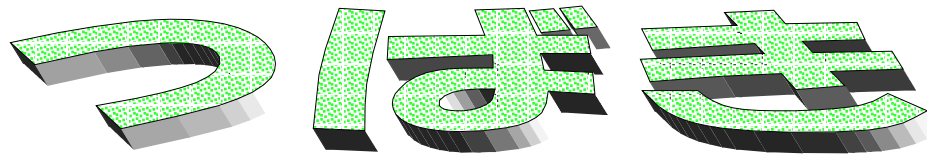
ここで私が言いたいことは、子どものごまかしが見抜けてますか。子どもの気持ちを理解できてますか。ということなのである。

*夏休みに入りますが、大人も子どもも交通事故に気をつけて、日頃できない親子のふれあいや体験を、そして、苦手な勉強にも挑戦し、楽しく、充実した夏休みになりますように。

校章図案者 平塚和枝 山口1585

うちの子供達がお世話になる学校が新設校と知ったとき、校章の存在が気になりました。決まっていなかったのなら是非、その図案をやらせていただきたいと考えていました。いざ公募となつてからは勉強不足だったので図書館通いをして勉強のしなおしをし、図案をあれこれ描いてみました。椿峰小の児童達への思いを小さな図案の中に盛り込むのはちょっと苦労しましたが、全体として素直で簡単なデザインになるようにしました。

*開校30周年を記念して、椿峰小の歴史等を学校だよりで紹介しています。



9月号

ならぬことはならぬものです

校長 島田光雄

暑い夏、節電の影響もあり、8月中旬頃までは特に暑かったような気がします。

夏休み中の交通事故や怪我、病気等の連絡もなく、子ども達はそれぞれ、有意義な夏休みを送ったことと思います。

私は珍しく家族4人がそろい福島方面に1泊の旅行に行ってきました。どこに行くかは私に任せられていたので、風評被害で観光客が減少しているということで、少しはお手伝いできるのかなと思い福島に決めました。

会津城の資料館で見つけた言葉ですが、会津藩では、「弱い者をいじめるな」等7つの約束事を決め、子どもの教育の中で「ならぬものはならぬ」ということで守らせたそうです。今の言い方にすると「だめなものはだめ」という意味だと解釈します。「赤信号みんなでわたれば怖くない」「少しぐらいいいじゃないの」という決まりやルールを守らなくてもいいという社会規範がうすれているなか、大切なことではないかと思いました。

例えば、宿題はやってくるものです。ところが、やってこなくても平気な子どももいます。難しい問題でいくら考えても解けませんでした、というなら分かりますが、漢字を5個ずつ書いてきましょう等のやろうという気持ちがあればやれることでもやってこない。やらない理由はいろいろとあると思いますが、子どもに学力がつかないことだけは確かである。

・Jボード、ローラー付きシューズ等の校庭での遊びを禁止します。

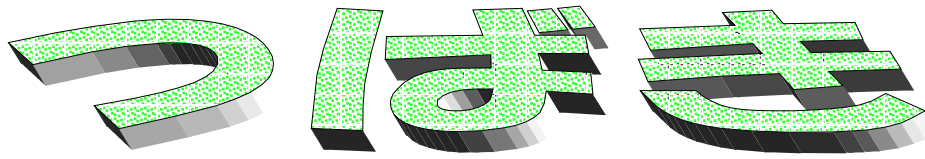
「よい子のきまり」ではコンクリートの所では遊ばない事になっています。車が通行し危険なためです。また、転んだことによる怪我が頻繁に起こっています。以上の理由により校庭のコンクリートの所でのJボード等の遊びを禁止します。尚、どうしても練習させたいという希望がありましたら、保護者同伴で許可いたしますのでご連絡ください。

校歌作曲者 立花 亮

所沢市向陽町

昔ながらの武蔵野の地に、空に向かって建てられた近代的な後者まさに絶好の環境に恵まれた学校。その中でのびのびと育っていく、わんぱくな児童達。そうしたイメージを盛り込み、斬新なメロディをと、心がけました。しかし、作品はできあがってしまうと、その作品は作曲者のものでなくなり、一人歩きするものです。これから先、いつまでも、この校歌が児童の皆さんとともに歩き続けてくれることを願っています。

*開校30周年を記念して、椿峰小の歴史等を学校だよりで紹介しています。



食事を終えて

校長 島田光雄

あるレストランで見かけた光景です。
4人家族がおいしそうなのを食べながら、にぎやかに楽しそうな会話をしていました。

食べ終わり、一家の帰り支度が始まろうとするとき、お母さんが、テーブルの上に散らばっていたお皿やコップ等を食器の大きさごとにそろえて重ね始めました。お父さんや子どもたちも、コップを一カ所にまとめ、使った箸やスプーン、フォークを集めて向きを整えると食器の脇に置いていました。そして、座っていたいすをテーブルの下に戻し帰って行きました。

お金を出しているのだからきちんとそろえる必要はない、お店の人が片付けるればよい。というのも一つの考え方でしょう。

食器類を片付けやすいように整えておく行為は、後で食器を片付けにくるお店の人への配慮が感じられます。又、席を立つときにいすをテーブルの下に戻しておく行為には、周囲の人の通り道をふさがない心配りが感じられます。

会計の所では「ごちそうさま」「おいしかったです」「ありがとうございました」等の温かい会話があったのではないかと推測します。

このような、親の態度を見ている子どもは、相手に対して心配りのできる大人に育っていくのだらうと思います。また、すばらしい親だと思いました。

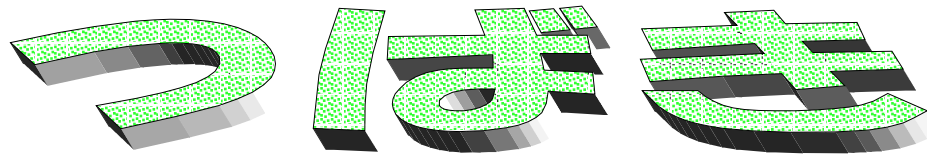
<坂道の名前が絞られてきました>

開校当時、椿峰オートから登ってくる坂を「おはよう坂」と名称を付けました。30周年を記念して、急坂、リンクシティから学校に来る道にも名称を付けることになりました。保護者、子どもから公募し絞られた名称を紹介します。

この中から実行委員会で決定されます。

急	坂	リンクから学校までの道	
・小鳥坂	・がんばり坂	・なかよし坂	・リンクロード
・ころころ坂	・ガンバ坂	・リンク坂	・うらもん坂
・元気坂	・ファイト坂	・にこにこ坂	・ふれあい坂
・気合い坂	・学問の坂	・椿坂	・海谷坂

どの名称になってほしいですか。



人 権 の 花

校 長 島 田 光 雄

図工室の前の花壇にパンジーの花で祝30と読めるように植えてみました。このパンジーは人権擁護委員会からいただいたものです。

人権は、誰もが生まれながらにして持っている、人間が人間らしく生きるための、誰にも犯されることのない永久の権利です。本校の子ども達一人一人に確実に指導したい内容です。

1 「いじめ」をしない

「いじめ」の根底には、他人に対する思いやり、いたわりといった人権意識の希薄さがあります。人権意識と云ったら大げさのようですが、結局他人の心の痛みを分かれば「いじめ」はできません。例えば動きが遅いとか、水泳が下手だといった集団の中の異質な物を標的に、ただ異質であるというそれだけの理由で行われることが多いです。そのまま放置すれば差別の目となる危険をはらんでいます。その人なりのよさが必ずあることを伝えたいです。

2 「いじめ」をさせない

「いじめ」を生み出す心理的な理由として存在感や自尊感情の満たされない子どもがその満足を求めて自分より力の劣る者を攻撃、支配するのが「いじめ」の基本です。そして、「いじめ」を行うことによって、他で満たされない欲求を代償的に満たし、一時的な心理的欲求を得ているのです。相手の立場になって考えさせることが大切です。もし、自分がいじめられたら、、、と考えさせたいです。

3 「いじめ」を見逃さない。

毎日夕食を家族そろってとっている家庭の割合は25%にすぎないそうです。「いじめ」の発見は普段からの子どもとの接触がなければ、子どもの心身の微妙な変化に気づくことができません。食事の時間に学校での出来事や友達のことなどを増やしていきましょう。たとえ小さな話題でも子どもの話の内容を聞いてください。そして、心配なことがありましたら早めに担任に相談してください。小さい目の段階で解決するのが大切です。

<坂道の名称が決定しました> 30周年実行委員会

○急坂→がんばり坂

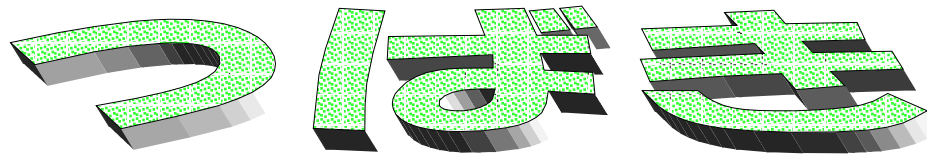
理由 がんばって登った坂の上に椿峰小があるから
 がんばって登れば、その先には楽しい学校、みんなに会えるから

選考理由 校歌の2番に「がんばる子ども」とあることから。

○リンクへの道→なかよし坂

理由 学校までの道のりをみんなでなかよく歩いていきたいから。
 なかよく毎日登下校ができたらいいなあという気持ちがあるから。

選考理由 なかよし坂、にこにこ坂がほぼ同数であったが、校歌に「なかよく」という詞があり、そろえる意味もありなかよし坂としました。



うちの子がカツオ君だったら

校長 島田光雄

昨年の学校便り（5月号）サザエさんの「カツオ君の魅力」を次のように書いた。

磯野毛の長男、カツオ君が好きな理由として、次のことをあげた。テストの点が悪いのは愛嬌で、なによりもいつも生き生きとしていて難問が発生していてもどうにかこうにか自分で解決する。

保護者の何人かに聞いてみたところ、「あんなに成績が悪くては困るよね。」「うちの子だったらそんなこと言ってもらえないよ。」「クラスの子がみんなカツオ君でもいいのですか」と成績のことを気にする答えが返ってきた。もっともなことである。

要するに学力をみるのか人間性をみるのか、学ぶ学力（知識の量）と生きていく学力（知恵）なのか。どちらに視点を当てるかによって見方が異なってしまう。

健康面、学力面、運動面等すべての事について満点であることを願う親は多い。しかし、現実はいかにない。カツオ君は学力面には問題がある。しかし、磯野家は人間的に素晴らしいカツオ君を育てていると思う。友達との関わりもじょうずだし、暗いところはなく、いじけているところもない。学習に対してひたすら努力しようとする姿勢が出てくれば、子どもとして満点のような気がする。

親は子どもをいろいろな視点からみて現状を把握し、良さをさらに伸ばすことが大切なことではないかと考える。できるだけ、たくさんの視点を持って子どもをみることが大切である。

良さを伸ばすというのが、良さが分からなかったり、気づかなかったり、良さを短所としてとらえたら、伸ばすことはできない。我が子の良さとはなにか、どうやって伸ばすのか、今年の締めくくりとして考えてみてはいかがでしょうか。

< 開校30周年・豆知識 >

- ・ 椿峰ニュータウンの設立によって急増した児童を受け入れるべく、山口小学校区、小手指小学校区の一部を併せて新設の小学校として昭和57年4月1日に開校された。
- ・ 4月8日に開講式を行い、13学級509名の児童、横川校長以下20名の職員でスタートした。
- ・ 昭和62年度には1180名、31クラスになった。
- ・ 卒業生は3847名となっている。

